

地域医療連携総合センター だより



I. 緩和ケア病棟の愛称決定他

II. 令和3年度 病病・病診連携サービスアンケート調査集計結果

発行: 令和4年2月 釧路労災病院地域医療連携総合センター



理念: 最新の知識と技術に基づき、良質で信頼される医療を実践します

I. 緩和ケア病棟の愛称「れぽふる」に決定しました

4月に開設される緩和ケア病棟については、緩和ケア＝死を待つというネガティブな印象を抱く方が多いことから、「身近で親しみのある病棟」作りを目指し地域の若い世代（高校生・看護学生）から愛称の募集を行いました。※この取り組みは北海道新聞にも取り上げられ、多数の応募がありました。

その中から「フランス語の repos（安らぎ）を full（十分、いっぱい）に提供するという意味で、ひらがなにすると優しさを感じ、より暖かい看護を受けられるイメージになる」という理由で応募頂いた作品「れぽふる」を採用いたしました。これからは、緩和ケア病棟→「れぽふる」と呼んでください！

釧路労災病院緩和ケア市民公開講座

令和3年11月20日（土）WEB配信にて開催。多数ご参加いただきました。

・寿命まで生きつくすための緩和ケア

釧路労災病院 副院長/緩和ケアチーム担当医 小笠原 和宏 先生



・大いに語ろう 緩和ケア病棟ってなに？

済生会小樽病院 内科医長 今井 貴文 先生

釧路労災病院 緩和ケア内科 部長 小田 浩之 先生



今後も、より身近な緩和ケアを目指し、情報発信・講演会等のご案内いたします。

また、「職場で緩和ケアの勉強会を開催したい」「講演会をやってほしい」などご希望がございましたら地域医療連携総合センターまでご相談ください。

～緩和ケア病棟では多職種のチームで患者さま・ご家族さまを支えます～

医師・歯科医師: 主治医のほかに、緩和ケア専門医ががんに伴う様々な症状をコントロールします

看護師: 担当看護師のほか、緩和ケア認定看護師、がん看護専門看護師などがいます

薬剤師: 様々な症状をコントロールするための薬について提案などをします

理学療法士・作業療法士: 治療や疼痛などにより、体が動かなくなってきた時に、残された機能を最大限に活用して生活が送れるようリハビリをします

管理栄養士: 治療による「痛み」「食欲低下」など食事が進まない時、食事のアドバイスをします

ゲイアカリ-ワーカー: 患者さん・ご家族の生活全般の支援をします

心理師: 心の問題など専門的な支援をします



Ⅱ.令和3年度 病病・病診連携サービスアンケート集計結果

大変ご多忙にもかかわらず、アンケート調査にご協力頂き誠にありがとうございます。

今後も、安心して患者さまをご紹介頂けるよう、利用しやすい連携システム構築に努力いたします。

また、コロナ診療における心温まるメッセージ、緩和ケアへの積極的参加など多数ご意見を頂き、感謝申し上げます。職員に対する不満、連携システムにおける改善点等も多数頂戴いたしました。

今後も皆様の声に真摯に向き合い、よりよい連携システム構築に努めてまいります。

単位：（％）

1	項 目	令和3年度			【参考】令和2年度		
		重視度	満足度	乖離	重視度	満足度	乖離
1	【病診連携システムについて】						
	□わかりやすさ	81.9	88.2	6.3	74.8	77.0	2.2
	□紹介しやすさ	91.4	86.3	▲ 5.1	85.2	83.6	▲ 1.6
2	【窓口の対応について】						
	□応対言葉づかい	71.4	84.5	13.1	72.3	85.1	12.8
	□迅速度	89.3	84.2	▲ 5.1	83.2	79.6	▲ 3.6
3	【当院の医療情報提供について】						
	□医療機器の情報	67.9	76.8	8.9	65.8	72.1	6.3
	□診療科の情報	81.7	87.1	5.4	75.0	78.2	3.2
	□医師の専門分野等	78.1	84.3	6.2	80.3	75.9	▲ 4.4
	□医師の交代	50.5	67.0	16.5	35.4	60.9	25.5
	□検査等空き状況	45.2	54.3	9.1	54.7	54.3	▲ 0.4
	□空床の状況	42.2	50.0	7.8	44.7	48.0	3.3
4	【治療水準の満足度について】						
	□診断	94.2	91.2	▲ 3.0	93.2	91.1	▲ 2.1
	□治療	94.2	92.2	▲ 2.0	94.1	90.2	▲ 3.9
	□手術	93.2	91.1	▲ 2.1	90.7	90.0	▲ 0.7
	□検査	91.2	89.9	▲ 1.3	92.4	89.2	▲ 3.2
	□撮影	88.1	86.6	▲ 1.5	88.0	88.7	0.7
	□画像診断	88.2	87.5	▲ 0.7	87.3	89.8	2.5
5	【診断結果等の報告状況について】						
	□報告書が届く時間	77.9	86.0	8.1	75.6	77.9	2.3
	□報告書の内容わかりやすさ	83.5	86.1	2.6	89.9	88.5	▲ 1.4
	□紹介患者の最終報告	83.7	79.6	▲ 4.1	89.9	75.9	▲ 14.0
	□症例検討会	31.4	39.1	7.7	25.2	40.5	15.3
6	【診察時間帯について】						
	□診察時間帯について	75.5	71.8	▲ 3.7	59.5	54.1	▲ 5.4
7	【緊急時・時間外のシステムについて】						
	□受け入れ体制について	82.7	74.5	▲ 8.2	82.1	68.8	▲ 13.3
	□担当者の対応について	73.3	74.5	1.2	69.8	73.1	3.3
8	【逆紹介について】						
	□逆紹介について	58.1	67.3	9.2	61.5	65.5	4.0
	全体的な評価 （有用度）	81.0			80.0		

「乖離」とは重視度と満足度の乖離値のことで、数値が大きいくほど改善が必要な項目となります。

□調査期間 令和3年11月1日～令和3年12月10日 匿名にて実施
 □調査件数 依頼件数 252件 回収件数 106件 （回収率42.1％）
 ※前年度263件 回収119件 45.2％

【評価点】

重要度 （「非常に重視している」＋「重視している」）／（「全回答数」－「無回答」）

満足度 （「非常に重視している」＋「重視している」）／（「全回答数」－「利用していない」－「無回答」）